

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話(521)8494

主張

国民の総意として 非核三原則の堅持と法制化を 要求しよう

開き直ったアメリカ
最近の米原潜の当て逃げ事件や米空母ミッドウエーの横須賀帰港、核もちこみをめぐるライシヤワー元駐日大使らの発言にみられるアメリカ・レーガン政権の態度は、日本への米軍の核兵器の持ち込みを進んで認め、日米安保条約の在る限り、日本がアメリカの核の傘のもとに在る限り、持ち込みは当然と開き直ったことを示しています。

非核三原則の危機
日本政府はアメリカの防衛分担金大幅増大の要求に迎合して軒なみ削減の予算のもとで、防衛費のみは七・五%増にふみ切りましたが、同時に、ミッドウエーの横須賀帰港を歓迎する自民党に代表されているとおり、作らず、持たず、持ち込ませぬの非核三原則のうち、持ち込ませぬの一項の削除に傾きつつあり

ます。まさに、非核三原則の危機であります。

地方議会の意見書採択
去る六月十五日に沖繩県那覇市議会が「非核三原則の堅持と核兵器持ち込みの疑惑解消に関する意見書」を全会一致で採択し、北海道の長万部町議会も、「非核三原則の法制化を要求する意見書」を全会派一致で採択したのを皮切りに、青森県野辺地町、宮城県名取市、茨城県岩井市、岩手県前沢町、秋田市、新潟県村上市、五泉市、奈良県平群町、富山県婦中町、福岡県中間市、京都府大山崎町など全国各地の地方議会が統々と非核三原則の堅持と立法化要求の意見書を採択しています。

青年六団体のよびかけ
以上の地方議会での意見書採択は、国民の底辺における非核三原則堅持とその立法化要求が

どんなに根強いものであるかを示していますが、去る六月二十七日、日本青年団協議会、日本YMCA同盟、日本社会主義青年同盟、日本民主青年同盟、全日本学生自治会連合会、宗教青年平和協議会の六団体は、本年八月の原水禁世界大会への支持とともに、「日本の核基地化に反対し、非核三原則の法制化、軍事同盟の解消」の世論と行動をまきおこすことを訴えた「日本青年へのよびかけ」を発表しました。

五周年記念集会の訴え
去る六月十日の平和協会主催の展示館開設五周年記念集会では、「日本への核兵器持ち込みに反対し、非核三原則の堅持と法制化を要求しよう」という訴えを満場一致、採択しました。

この訴えが、国民に支持され青年団体、被団協、科学者会議自治労、国労など多くの団体が決議を行なっていることに、私も確信を持ち、原水禁世界大会の支持と日常活動の強化をあらためて決意します。

● 100万人参観者運動を!

'81年6月来館者数	3,329名
通算1カ月平均来館者数	3,795名
通算1日平均来館者数	146名
通算来館者数	227,689名

来館者の 声から



人間が人間をほろぼすなんて許されないことだと思った。核の持ち込みは、ぜったい反対です。

江陽中三の一 F班
*
なんとなく通り、ここにこの展示館がある事を知り、入ってみました。

小学生の頃、先生が話しをしてくれたのを思い出す。それが私にとって反戦というものを考える一つのきっかけになったと思う。

高校生の時に行ってみた広島原爆資料館を思い出し、改めて戦争の恐ろしさを思い起こす。どんな事があっても戦争はおこしてはならない。決してしてはならないと思う。

*
何か 考えなければならぬ
早く 考えなければならぬ

第17回ビキニ事件を知る集い

とき 81年七月十七日(金)午後六時
ところ 江東総合区民センター第二会議室(6階)
江東区大島四一五一一 電話六三七一二二六二
地下鉄・新橋線西大島駅下車すぐ 又は国電亀戸駅下車徒歩十五分

問題 伊東 壮氏 (日本原水爆被害者団体協議会代表委員)
提起 近江 幸正氏 (核兵器廃絶NGO日本宗教者連絡会議事務局長)
テーマ '81原水禁世界大会の役割
私たちがからの提言

◎ 入場無料/資料代二〇〇円
主催 第五福竜丸平和協会

● 新刊書

三宅泰雄 著
がん病床からの生還

新日本出版社刊/四六判
三〇二頁 一、二〇〇円

が……
でないと、明日にもこの地球が……

死の灰でいっぱいになるかもしれない
視野をひろげて
地球を生かすために
考えなければならぬ
*
無記名

当時昭和29年焼津にマグロの検査にゆき、福竜丸をみました。当時は小生、厚生省の研究所の技官でした。
そのあと、俊鶴丸でビキニへ調査にゆきました。
*
本日は大変なつかしく思いました。
現在は大学で放射化学の教師をしています。

東邦大学薬学部 教授
浦久保五郎

編集後記

▽梅雨のなかの六月二十六日の夜夢の島の展示館にコソ泥が入り源泉徴収税の積立金十数万円が奪われてしまいました。
▽多くの善意の人に支えられている展示館が、まさか盗賊にねられるとは思っていなかった。は言葉につくせませんでした。
▽これからの備えて、展示館には、夜間、金品を一切、おかないなど、後始末に頭を痛めています。が、恐ろしいのは人間不信の感情が生れることです。
▽そうしたとき、広島から多額の賛助会費の払いこみがあつたり、アメリカから著名な科学者が、三宅会長の案内で来館されたり、展示館の作業が着々として進行したりすると、不快な事件が何とか忘れられそうです。
▽梅雨が明けるとともに、原水禁世界大会へむけての平和行進などの活動が盛んになります。それに期待しましょう。(H)



核もちこみを許すな

5月30日正午から31日正午までの24時間、第五福竜丸展示館前で「核兵器持ち込み糾弾、ミッドウェー帰港反対座り込み抗議行動」が行なわれました。この行動は、横須賀で行なわれたすわりこみに呼応し、江東原水協の呼びかけで行なわれ、延べ50名が参加しました。

緊迫の特別写真展

水爆の原子雲に“すごい”の声も

六月八日から一週間、展示館開設五周年を記念した特別写真展がひらかれ盛況。毎日新聞社が四月に行なった「カメラマンの見た戦後史展」の中から特にビキニ事件に関するものを借りて行なったもので、田村茂氏、森下一徹氏の写真も加えて緊迫感あふれる写真展となりました。お父さんの遺影を抱いて涙でくしゃくしゃの久保山さんの長女みや子ちゃんの写真に思わず人の足がとまるほど。ビキニ水爆実験の原子雲に「すごいなあ」の声も。焼津港の福竜丸、病床の乗組員、展示館からいま訴える福竜丸などの写真、ビキニ事件を世界に報じた新聞の大きなパネルも好評で、核をとりまく世論の高揚の中で、時宜をえた写真展でした。



きれいに、よりわかりやすく

立派な航跡図も — 六月の展示がえ完了

毎年六月末は展示館の様子がよくなる時。今回も一定の予算の中で、いろいろ工夫をこらした企画がすすみ、専門家への依頼だけでなく、広田館長を先頭にみんな苦勞して作業しました。なかでも傑作は第五福竜丸航跡図。大きなパネルいっぱい航路、実験水域、太平洋の島々

祝開設五周年

立命館大学教授

塩田庄兵衛

管理レポート第五号を発行
展示館開設五周年記念
特別号 A5判40頁
●御希望の方におわけします。送料一七〇円です。

盛大に五周年祝賀会ひらく

ちからあわせ、さらにすばらしい展示館へ

五周年おめでとう——六月八日正午から、日比谷・松本楼で「第五福竜丸展示館開設五周年記念集会」が盛大にひらかれました。三宅会長はじめ協会役員・評議員、都の関係者、保存運動にゆかりの深い人たちなど約四〇名が集い、ともに祝い、苦勞を語りあい、新しい前進への期待



五周年記念集会以「訴え」

小野周氏が記念講演 — 新しい行動へ決意

祝賀会につづいて六月十日午後六時から東京八重州の国労会館で「第五福竜丸展示館開設五周年記念集会」がひらかれ、約五〇名が参加。核兵器もちこみをめぐる全国津々浦々のたたかいを反映して熱っぽいといふようになりました。

記念集会以ふさわしく、最初

長ほか、服部学、川崎昭一郎、内山尚三、関屋綾子各氏はじめ各界から多数の人びとがつきかゝるつきへと祝辞をのべられ、時間のため早いこと。保存運動の最も困難だったころの熱心な活動家で病気でなくなられた堀田尊生さんのてる子夫人も参加され、展示館をもっともっと大きく都民に親しまれるようにしていきましようとのみんなの気持を代弁、本多理事の閉会のこころのあとも二時すぎまであちこちで懇談の花がさきました。



本女性同盟の武内しんさん、平和と軍縮をめざす全国連絡会の代表などが各界を代表してあいさつ。①第五福竜丸展示館への見学促進と活用②日本への核持ち込みを反対し非核三原則の堅持と法制化を要求する「訴え」を全員一致で採択、五周年を祝うとともにさらに行動の輪をひろげていく決意を新たにしました。集会ではまた、小野周東大名誉教授による記念講演「最近の核問題をめぐって」が行なわれ、明日へのエネルギーを養いました。